



## 池田桂 (日本共産党)

- 1.介護が必要になっても、自宅で安心して住み続けるために
- 2.働きながら、子育てができる多摩市へ

問 住み替えが困難で階段昇降が身体的に厳しく、エレベーター無し団地等の2階以上に居住している高齢者の階段昇降機を利用した移動支援の状況について伺う。

答 階段昇降機を利用できる事業所は少ないが、階段昇降機が高額なため購入の補助等は市として難しい。

問 難病患者の在宅生活における、医療・介護・障害のサービス利用の利便性向上の取り組みについて伺う。

答 今後、分かりやすいパンフレットを製作し、制度を利用して安心できるよう支援する。

問 子育て世帯の増加エリアの保育園の待機児童対策としての地域保育やファミリーサポート制度等の利便性及び、学童クラブの待機児童対策としての放課後子ども教室の実施状況について伺う。

答 事業所等と協議し保護者のニーズに沿えるよう検討中。待機児童は空き定員のある保育園で調整を実施。放課後子ども教室の週5日実施を試験的に実施予定であり、これを踏まえ可能なエリアでの実施を検討していく。



## 池田けい子 (公明党)

- 1.どうなる？多摩市の公共交通
- 2.自転車走行の安全対策について
- 3.旧統一教会の土地購入問題について

問 乞田地域などの交通空白地域においては「多摩市公共交通再編計画」の再検討を先行し、解消に向けて取り組むべきと思うが、市の考えを伺う。

答 「多摩市交通マスタープラン」の次期計画の策定の方向性も念頭に、取り組みを検討していく。

問 自転車の安全走行のための啓発対策、及び自転車用ヘルメットの購入費助成を求めるが、いかがか。

答 必要に応じた注意喚起を行い、またヘルメット着用率の向上のため、購入費助成制度を調査・研究し、今後の具体的な対応につなげていきたい。

問 旧統一教会が市内の土地を購入したことが判明し、市民や、隣接している国土館大学・都立永山高校の関係者や保護者等から、不安の声が上がっている。市として土地の活用に注視し、早期解決を図るための努力をすべきだと思うが、見解を伺う。

答 平穏な生活が脅かされるのではと危惧をしている。国の動向を注視し様々な取り得る手立てを探っていく。



## 藤条たかゆき (あすたま・維新)

- 1.増税路線へまっしぐら！？  
いま求められる改革と成長！！
- 2.自転車の更なる利用環境向上に向けて

問 国民負担率も稼いだお金の半分以上を召し上げられる「5公5民」といった状態。現状維持微修正型の税制改正ではもはや取り繕えない水準にまで庶民の負担感は増しており、今こそ抜本改革をしていかなければならない。異次元の少子化対策の財源が示されない中ではあるが、「子育てを育てるまち」を掲げる多摩市のショートステイ事業は2歳からとなっており、自身で抱え込んでしまうことで産後うつに悩まされたというご相談も頂いた。子どもの成長によって、その時期を過ぎると継続して要望をするのも難しいが、潜在需要はどう把握していくのか。

答 今期ニーズ調査を実施し把握に努める。

問 多摩市もヘルメット助成を前向きに検討しているようだが、オンラインでの購入より実店舗で繰り返し心地を確認し、最適フィットするものを選ぶのが望ましい。また、それをきっかけに店舗との関係も持てれば自転車のメンテナンスも含め安全性は高まるが考えを伺う。

答 手に入りにくい状況があることから市内販売店のヘルメット在庫状況調査などを行っている。



## きりき優 (自民党)

- 1.旧統一教会に関する市の対応
- 2.安心安全なスポーツ環境の整備
- 3.新型コロナウイルス感染症対策

問 他自治体のように条例化であったり行政調査や行政指導のような権力的でない行政活動によって、旧統一教会の行為に対して何らかの働きかけを行うことはできないか。

答 強制力をもった対応は難しいが市民の不安な気持ちに寄り添いながら取りえる手立てを探していきたい。

問 他自治体で学校のグラウンドに埋まっていた釘でけがをした事例が発生したが多摩市での状況はどうか。

答 市内スポーツ施設や小中学校施設の安全は確認した。

問 国際的に問題となり環境省や東京都も動きを見せているPFAS(有機フッ素化合物)の市内検出状況はどうなっているか。

答 水道、井戸とも国の暫定目標値を大幅に下回っている。

問 全ての学校グラウンドにナイター設備を設置してはどうかか。

答 現状教育委員会として増やすことは考えていない。

問 新型コロナウイルス感染症の状況について伺う。

答 患者報告数や入院患者数が増加している。引き続き注視するとともに5類移行に伴う自己負担の発生やワクチン特例臨時接種などの確かな情報を提供していく。

